

第九回横浜善光寺留学僧育英会

総会ご挨拶

第10回生 中国 嘉木揚凱朝

皆様、今日は。いつもお世話になっております。わたくしは今愛知学院大学大学院の宗教学科で日本仏教を勉強しているチベット仏教の僧侶嘉木揚・凱朝と申します。

私は善光寺育英会の理事長黒田武志先生を始め、皆様のおかげで去年の十月に愛知学院大学大学院に聴講生として日本にやってきました。それからこの一年間学校の先生や、友達等に色々お世話になって、今年の十月二十日やっと大学院の修士課程に合格することが出来ました。

私はこの一年間心から感動したことが沢山あります。なんとと言っても、善光寺育英会の奨学金をいただきましたおかげで日本に留学求法する機会が与えられたことです。特に大変感動したことは去年の六月十八日、黒田先生と佐藤先生は私の留学手続きのためにわざわざ北京雍和宮（チベット仏教の寺院）に来てくださいました。六月の中旬は北京の季節の中でもっとも乾燥しとても暑い時です。先生たちはどうしてそんなお忙しい時に北京にいらっしやいましたかと

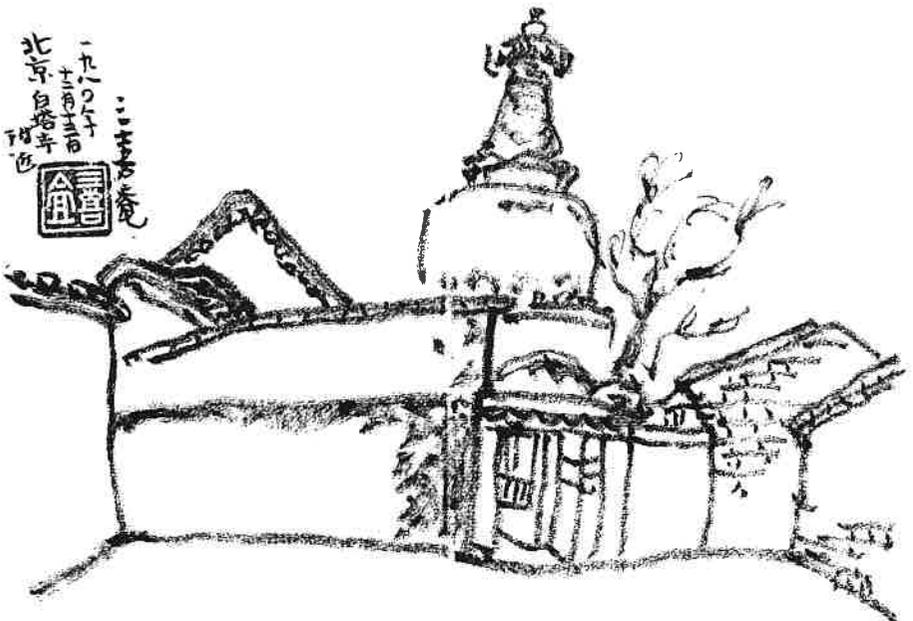
言えば、仏教のため、世界の平和のため、仏法
興隆のため、世界仏教の青年僧侶達の育成のた
め。私はそう思っております。先生達は本当に
菩提心を持っていると存じます。仏教の交流は
確かに国や民族あるいは宗派の違いを区別せず、
私はそう考えています。

若し世界の人々がみんな黒田先生達や善光寺
の育英会のメンバーの人達のように發菩提心を
持つようになれば、お釈迦様や諸仏の教えの通
りに『諸悪莫作、衆善奉行、自淨其意、是諸仏
教』そのように実現すれば世界から戦争がなくな
ると思います。

私も新しい氣持を抱いて頑張りたいと思いま
すので、どうぞ今後も先生達ご指導よろしくお
願います。簡単ではございますが、これで挨拶
を終らせていただきます。有難うございまし
た。

平成六年十一月二七日

合掌



王會同
胡同院
宮書

